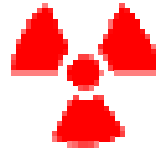


原発は放射能をつくりだす 命と暮らしの問題です！



国は「絶対安全とは申し上げられない」と言ってきました。事故は起きる、事故大前提の原発再稼働です。事故が起きたら誰も責任とりません。

なぜ九州電力という一企業の起こす事故のために、私たちは被ばくしなければならないのでしょうか！

原発をもう動してはならない！

1. 隠されている被ばく労働は人権侵害である
2. 再稼働は核のゴミを増やすことになる。
次世代にこれ以上おしつけてはならない
3. 福島原発事故が収束せず、事故原因が検証されていない
4. 地震が頻発する日本列島では原発震災の危険性が高い
5. 猛毒プルトニウム(長崎原爆の材料)を使う玄海3号機プルサーマルは一層危険
6. 原子力災害避難計画では命を守ることができない
7. 最低限の備えとして安定ヨウ素剤すら住民に配布されず
8. 原発事故の責任は国、電力会社、自治体のたらいまわし

- 原子力規制庁 03-3581-3352
- 経済産業省 03-3501-1511
- 環境省 03-6741-4535
- 厚生労働省 03-5253-1111
- 九州電力 092-761-3031
- 佐賀県庁 0952-24-2111

分からない
ことには
電話を！

国民の毎日の食べ物の放射能基準値が いつの間にか変わっています！

	単位	事故前(H20年度)の 食品放射線量*	厚生労働省 H24年度基準値**	
上水	Bq/L	0.00004	10	25万倍
米	Bq/kg	0.012	100	8,300倍
根菜	Bq/kg	0.008	100	12,500倍
葉菜	Bq/kg	0.016	100	6,300倍
牛乳	Bq/L	0.012	50	4,200倍
魚類	Bq/kg	0.091	100	1,100倍
製茶 (乾燥)	Bq/kg	0.240	100	420倍

*セシウム137の値 **セシウム137の値
出典：日本分析センター平成20年事業報告書より

3.11後、大改悪！今、全国で「安全」と言われているのはこの基準値です。

猛毒の放射能ゴミ置き場を増やす計画が進行中

九州電力は、使用済み核燃料という猛毒の放射能ゴミの処分方法も決めないままに玄海原発を動かし続けてきました。放射能は運転前の1億倍にもなります。知事と町長が容認し、去年再稼働させたので、ゴミがさらに増え、仮置き場(プール)がすぐに満杯になります。そこで、プールをぎゅうぎゅうに詰め直す「リラッキング工事」と、「乾式貯蔵施設建設」を進めようとしていますが、青森県の六ヶ所再処理工場は未完成で搬出できる保証もありません。

このまま佐賀・玄海が永久の核のゴミ置き場になりかねません。子ども達や未来の世代のために、今、原発の稼働を止なければなりません。

10万、100万年の管理が必要ともいわれる放射能ゴミを、これ以上増やすのはあまりに無責任です。知事や町長に計画を「事前了解」させないよう、今、声をあげましょう。

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会

佐賀市伊勢町2-14 TEL : 0952-37-9212 FAX : 37-9213
saiban.jimukyoku@gmail.com http://saga-genkai.jimdo.com/



2019.3.10作成